

(続 東田りん)

けれども日さまのおんを、おもわして戴いておりますものわござりません。日さまわ、どんなところで、おなじようにおてらしくだされますれば、また、た」(7才)

きびと、おなりくだされまして、とんなものでもみな、もゑていたゞけばこそ、たばこのひともおなりて戴けば、ふゆわ、おこたの火にまで、おなりて頂きまして、よるは、ともしびとも、おなりて頂きます、りを、火一さいつかどりてくだされますと、もうしますのでござります。よろづのものを、せいじんさして頂きます。日でもすいしようや、からすのよふなもので、とらして頂きますれば、たきび」(7ウ)

ともおなりて頂けますのでござります。この理をころにおさめさして頂きませねばならんものでござります。

國狭の命様

くにさつの命様わ、人間みのうちでわ、すじかわ、つなぎのごしごうをしてくだされま御神様でござります。人間のほねとおふせくだされまするものわ、ついでござります。ばらへになります」(8才)

ものを、つぎあわせて、すじでつないでくだされますのでござります。水とちいと日々頂ております。しよくじまで、もたして頂けますように、かわでつないでくだされまして、人間のかつこうをおこしらゑくだされ、じゆうよふじぎいに、もちなやみをさして頂ております。くにさつの命様、ご一人おやすみになりましたら、からだのかつこうもでけさして頂きませねば、もちなやみを、さし」(8ウ)

て頂きますことをできませんものでござります。

世界でわ、人のたべさして頂ておりますものに、かわのないものわ、ひとつもござりません。かわのないものにわ、みいのできさしてくだされますものわござりません。きんせん、ゑんだん、よろづのもの、つなぎとおふせくだされますものわ、きんと申しまするわ、きんもぎんもあかがね」(9才)

しんちゆう、てつ、なべがね、なまりでも、ぶりき、すゞそのほか、かねのあるだけのものを、きんと申さして頂きますものわ、きんわ、かねのうちのおうさんでござりますから、きんと申さして頂きますのでござります。かねわ、山からほりてわ、つかわして頂きまして、ほりづかいのものでござりますことわ、どなたでも、しりていなさんおかたわ、ござりません。かねのたねをとりたり、なへこそ」(9ウ)

うゑさして頂いたり、まかして頂ていなさんおかたわ、一人もござりません。また、ぜにと申さして頂きますものわ、どこゑゆかして頂きますもの、また、きやして頂きますもの、どんなものをかわして頂きますもの、ぜになら、どんなことをさして頂きますもの、ぜに、からだをやらして頂きませへでも、ちよつと、てがみでもださして頂きますれば、どんなでも、もつてきて頂きますれ」(10才)

ば、どんな事もして頂けますことを、ゑんだん、つなぎと申さして頂ておりますのでござります。この理をころにおさめさして頂きませねば、なりませんのでござります。

月夜見命様

つきよみの命様わ、人間みのうちでわほねしんのふんばり、ち

からのごしごうくだされます」(10ウ)

御神様でござります。ほねとおふせくだされますものわ、七十二ふしござりまして、七十二かしようつきあわせてござります。つぎへのものでござります。からだでおもにをもたして頂けますれば、みちもあるかして頂けます。どんなじゆうよふもさして頂きまして、なにひとつもさして頂きませんと申さして頂く事のないように、みなさして頂ております。ものに」(11才)

ほねわかたいのものでござりますかと、申さして頂きますれば、かたいと申さして頂きませんものでござります。またやらこいのものでござりますかと、もうさして頂きますれば、やらこいものと申さして頂きますことの、できませんものでござります。ほねわかたいのものでござります。けれども、ほねをかたいものともうさして頂きますことわ、できませんものでござります。また」(11ウ)

やらこいものと申さして頂きますれば、たゞして頂く事も、あるかして頂きますことも、できませんものでござります。御神様わ、からだわ人間のこゝろをよろこばすように、こしらゑたものであると、おふせくだされますのでござります。人間のこゝろでおもにをもたして頂きたくいと、おもわして頂きますれば、つきよみの命様がふんばってくだされまして、おも」(12才)

にをもちてくだされますから、おもにをもちてくだされますから、おもにをもたして頂けますものでござります。またみちをあるかして頂きたくいとおもわして頂きますれば、御神様がふんばってくだされまして、みちをあるかして頂けますのでござります。どんなじゆうようも、さして頂きたくいとおもわして頂きますれば、御神様がふんばってくだされまして、どんなじ」(12ウ)

ゆうよふもしてくだされますから、どんなじゆうよふもさして頂けますものでござります。人のからだわ、このしごとをさして頂きまして、こちらのしごとわ、さして頂きませんと、もうさして頂きますような、からだでわござりません。なにごとでも、なになりとできさして頂けます、からだでござります。(13才)

世界でわ、よろづのものに、ふんばりとおふせくだされますわ、はなのさかして頂きますものわ、はなのさかして頂くまで、みいのならして頂きますまで、ようにたゞして頂きますものわ、ようにたゞして頂きますまでたつわ、土のうゑへはわしてくだされます、つるのものでも、ふんばって頂きますあいだ、みいもならして頂き、あじもできさして頂けますのでござります。ふんばってくだ」(13ウ)

さらぬ、たをれたものにわ、はなもさかして頂けねば、みもならして頂けねば、あじもできさして頂けません。ふんばって、ちからのごしこうして頂けばこそ、花もさかして頂けば、みもならして頂き、あじもできさして頂きますあいだ、ふんばってくだされますりを、よろづふんばってくだされますと、もうします。たちやふんばってくださると、もうさして頂きますものわ、はしらの」(14才)

よふな、三寸か四寸かの木が、なんぜんぐわんと、もうさして頂きますような、おもにをもたして頂く木も、松のように、よこにねやして、おもにもわたしてくだされますきも、ござりま

すれば、かしやけやきのような、かたい木もござりますれば、きりのきのような、やりこいきもございます。これみなやまで、よふにたつまでのあいだやまで、ふんばってくださいますと、もうします。こ」(14ウ)

の理を、こころにおさめさして頂きませねば、なりませんものでござります。

雲讀の命様

雲讀の命様わ、人間みのうちでわ、のみくいでの、ごしごうくだされます、御神様でござります。人間にわ、たべものほど、たのしみものわござりませんので、うたいも、まいも、のりのかげともう」(15オ)

さして頂きまして、たべさして頂きますものほど、たのしみなものわ、ござりませんのに、たべさして頂きたいと、おもわして頂きまして、たべさして頂きますものに、あじがござりませいで、たべとむないと、おもわして頂きますときもござりますれば、たべたいとおもわして頂きますときに、たべるものわ、たくさんにござりますし、おかねもたくさんにござりますし、まくらもとに、たべさ」(15ウ)

して頂きますものわ、やまのように、つみならべてござりまして、からだわ、どこもわるいところのござりませんときに、たべさして頂きたいと、おもわして頂きまして、たべさしていたゞけません。かくともうしますものも、ござりますれば、ださして頂きたいと、おもわして頂きまして、しょうべんつまり、ふんづまりになりて、おいしやに、きかいでだして頂いてもろふていなさる人も」(16オ)

ござりますれば、はらはりと、もうさして頂いております。ちよまんと申します、やまいもござります。また、しもへですげて、こまりていなさるおかたも、ござりますれば、かみへこみかへして、こまりていなさるおかたもござります。わがみでたべさして頂くのでわ、ござりません。みなこの御神様のごしごうでござります。」(16ウ)

世界でわ、よろづのもの、ちめで、ふくんでござります水を、すいあげてくだされまして、まいよへに、よつゆをさげてくだされまして、また、ちにござります水を、もや、きりとなしくだされまして、てんへすいあげてくだされまして、また、あめ、あられ、ゆきのもととなりて、おさげくだされまして、うるをいをくだされますことを、すいきあげさげのごしごうくだされますと、もう」(17オ)

さして頂きますのでござります。このりを、こころにおさめさして頂きませねばなりません。

可志古泥の命様

かしこねの命様の人間みのうちでわ、ことばふきわけのごしごうをしてくだされます御神様でござります。人わくちさへござりますれば、ものをゆわして頂けますが、しだがあり、こゑがあり」(17ウ)

いきさへござりましたら、ものをゆわして頂けるように、人わみなおもわして頂いております。けれども、おしのをかたでも、くちもござりますれば、いきもござります。したもござりますれば、こゑもござりますのに、ものをゆわして頂けませんおかたもござりますれば、みゝがござりまして、きこゑさして頂

けません。おし、つんぼうともうします人もござります。ものゝどおり」(18オ)

で、はなしをさして頂きまして、ふゑわ、いきをいれさして頂きまして、なるどうぐでござります。けれども、ゆびをあてさして頂きませねば、ものをわかりませんのも、人間わ、いきもござりますし、こゑがござりますけれども、かしこねの命様の、ごしごうをして頂きませねば、ものをゆわして頂きませんのも、理わおなじどおりなものでござります」(18ウ)

世界の風ふきわけしてくだされますと、もうさして頂きまして、よろづのものわ、みな風で、できさして頂きましてござります。風わ月日様のいきでわござりますけれども、西風がふかしてくだされば、東へなびかしてござり、東の風わ西へ、北の風わ南へ、南の風わ北へ。この四方すまへまで、ふきとうしてくだされますを、風ふきわけと、おふせくだされますので」(19オ)

ござります。この風を、八ぼうふきとうしてくだされますので、よろづのものをできさしてくだされますのでござります。いま、人がみな、もうさして頂いてをりますものわ、やまがござりますので、風がとうりません。あらしがとうりません。また、あんまりものができすぎましたので、風がとうりませんので、よろづのもの、はもすくのうござりますれば、はなもすくのうござります。みも」(19ウ)

すくのうござりますして、あじもわるうござりますと、もうさして頂いてますよふなことわ、みなもうさして頂いてをります。けれども、風ふきわけしてくだされますので、よろづのものも、できさして頂きまして、みいりもさして頂いております、ことのりを、こころにをさめさしていただきませねば、なりませんもので、ござります」(20オ)

大食天の命様

大食天の命様わ、こ〔子〕のできさして頂きまして、たいないで親とことのゑんづるを、きりはなしてくだされますので、こがいをさして頂きましてござります。これをたいないで、おやこのりをきると、おふせくだされますのでござります。」(20ウ)

世界わきりはさみと、おふせくだされますわ、人間のたべさして頂きまして、できさしてくださったものを、はものをもつて、きりはなしてござり、はあで、きりこなして、人のやしないものと、なしくござりますので、ござります。このおん神様に、きりて頂きませねば、地からできさしてござりましたなりで、すぐにたべさして頂きまして、一つもござりません。」(21オ)

またはものがござりませなんだら、家をたてさして頂きまして、よろづのものをこしらへさして頂くこともできません。山で木をきらして頂くことだけでも、できません。女のつかわして頂きまして、はさみ、そのほか、いろへのはさみがござりませねば、できません事がたくさにござります。このはもにごしごうくだされますのを、きりはさみのごしごうと、おふせくだされ」(21ウ)

ます。大食天の命様わ、金のうちのはがねに、こころいりこんで、ごしごうしてくだされます御神様でござります。この理を心に